

## **各医師の専門について**

当科では専門外来を特に設けていませんが、各分野に専門家を有し、診療にあたっています。尾崎主任部長は、認知症、パーキンソン病、脳卒中、神経免疫疾患、てんかんなどの基礎研究、臨床研究にたずさわってきました。また、脳神経内科に加え、内科学会、脳卒中学会、頭痛学会の専門医・指導医でもあります。

山川医長は脳神経内科全般、末梢神経障害、武信医長は脳卒中、脳血管内治療、辻医師は脳卒中全般、神経感染症により専門性を有します。長谷部医師、池田医師、野村医師、玉城医師は脳神経内科全般に対応できます。

電気生理学的検査（神経伝導検査、筋電図、誘発電位、脳波など）は医師も直接検査にあたっています。

## **脳卒中について**

脳神経外科とともに SCU を運営し、適応があれば超急性期血栓溶解療法(t-PA)を行っています。また、脳大血管、頸動脈の血栓による狭窄があれば、脳神経外科と協力して血栓回収術やステント術、頸動脈内膜剥離術、バイパス術など予防的治療を行なっています。心原性脳塞栓症については抗凝固薬の使用につき、循環器内科、不整脈科とも連携し心房細動のモニターや経食道心エコーを行います。急性期治療後は、再発予防治療やリハビリを行い、脳卒中危険因子（高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、脱水、感染症、卵円孔開存など）を評価・治療しています。退院後は近くのリハビリ病院もしくは療養型病院、かかりつけ医への紹介、在宅医療へとスムーズな連携を取っています。

## **パーキンソン病について**

経過の長い病気ですが、適切な薬剤を早期から使用することにより進行を遅らせ、症状を緩和できますので、必要に応じて検査入院を行い、薬物調整を行います。脳神経内科の専門性が必要とされる病気ですので、外来での長期フォローが必要となります。診断困難な症例であっても、MRI、脳血流シンチ、MIBG 心筋シンチ、ドパミントランスポーターシンチ(DAT-SPECT)などを行い、診断精度を高めています。症状の変動が激しく内服コントロールが不良の場合は、消化器内科と協力して内視鏡的に胃瘻を造設し、経皮的レボドパ・カルビドパ持続注入療法(LCIG, デュオドーパ®)も行っており、良好な経過が得られています。

## **認知症について**

根治はできませんが、高次脳機能検査や CT, MRI, 脳血流シンチなどの画像検査を行い、早期診断を行います。また、認知障害・精神行動障害(BPSD)に対する適切な薬物治療を心がけ、ご家族への日常生活上の指導や、介護支援体制の整備、デイサービスやグループホームの利用などをすすめています。

## **頭痛・てんかんについて**

「たかが頭痛、されど頭痛」と言われるように、頭痛、特に慢性頭痛は著しく患者さんの ADL を阻害しますが、片頭痛など難治性であっても周囲の理解が得られにくい疾患です。また、頭蓋内の器質的疾患が潜んでいる場合もあります。当院では頭痛専門医を中心に頭痛疾患の的確な診断、治療に努めています。てんかんについても脳波、MRI、脳血流シンチ等の検査を行い、急性期から発作型に応じた適切な薬物治療を行っています。

## **各種神経感染症について**

発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意識障害など多彩な症状がある場合、髄膜炎、脳炎が疑われます。当科では速やかな診察、髄液検査等を行い、必要に応じた抗生剤、抗ウイルス剤による治療を開始し、良好な成果を得ています。

## **各種免疫性神経疾患について**

ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）、重症筋無力症をはじめ、自己免疫性脳炎や各種免疫性神経疾患に対して、大量免疫グロブリン療法や血漿交換、ステロイド、免疫抑制剤による治療を行い、良好な成績を得ています。重症筋無力症については、全身型または胸腺腫を合併していれば呼吸器外科と協力して拡大胸腺摘出術を施行します。また、難治例であればエクリズマブなどの抗体医薬も導入しています。

## **多発性硬化症について**

再発予防にインターフェロン治療やグラチラマー酢酸塩（コパキソン®）皮下注射を行い、内服薬であるフィンゴリモド（イムセラ®）やフマル酸ジメチル（テクフィデラ®）、難治性の患者さんにはナタリズマブ（タイサブリ®）、二次進行型にはシポニモド（メイゼント®）も導入しています。視神経脊髄炎に対しては急性期ステロイドパルス、血漿交換を行い、難治例にはエクリズマブや免疫抑制剤による治療も導入しています。

## **末梢神経、筋疾患について**

神経伝導検査や筋電図などを行い、形成外科と協力して必要に応じて筋生検、神経生検を行い、国立精神神経センターとも協力して正確かつ迅速な診断・治療に努めています。

脳神経内科は急性期から慢性期まで、脳、脊髄、末梢神経、筋肉に至る幅広い疾患を扱っています。我々は神経難病の患者さん、ご家族を心身両面で支えて行けるような医療を目指しています。